

1 基本情報

事業名称	頑張らなくていい！ちょっとしんどい子育て、パパママ応援プラン「バナナの会」「ころころゴーヤの会」				
事業目的	乳児や多胎の育児・関わり方について知り、専門職への相談や参加者同士で思いを共有することで、保護者が不安・悩みを解消し、安心して子育てができる環境を創出する。				
事業概要	「バナナの会」（対象：多胎の親子・多胎妊娠中の妊婦 回数：年4回） ①保護者同士の情報交換、スタッフを交えた交流 ②保育士による遊び ③助産師・保健師・保育士による個別育児相談 「ころころゴーヤの会」（対象：5～8か月頃の乳児の保護者 回数：年4回） ①助産師による講義・実演 ②保護者同士、スタッフを交えた交流 ③助産師・保健師・保育士による個別育児相談				
実施主体	北保健センター	実施場所	北保健センター	実施時期	令和7年4月～令和8年3月

2 設定指標

活動指標	保健師が本事業の利用を勧奨した区民に対する申込者の割合		R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	-	70%
		実績	-	-	-	69%
成果指標	「子育て支援に関する取組の充実」に満足している区民（未就学児あり）の割合（堺市北区民意調査）		R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	56%	56%
		実績	-	-	47.4%	-

3 事業評価

決算額 267,748 円

①妥当性	○	②費用対効果	○	⑤総合評価	○	評価基準
北区は堺市の中でも出生数や多胎妊娠者数が多く、産後うつなどのリスクが高い妊産婦も多い。妊娠中や子育て中の保護者が不安を解消し、安心して子育てができる環境の創出に向けた当該事業は妥当性がある。		職員が創意工夫を凝らし、助産師と保育士の配置に要する最小限の予算（人件費）で安全を確保しながら、専門職に相談できる場を提供している。		多胎児や子育ての不安を抱える保護者は外部とつながることに消極的になりがちである。公的機関が安心して利用できる場を提供することで、一步を踏み出す力になり、たのしいでつながるきっかけとなると考える。また、保健師・助産師・保育士・管理栄養士・歯科衛生士といった専門職への相談の場としての役割も果たしており、子育ての不安や悩みを解消しながら、保護者同士がつながり、情報を共有することで、安心して子育てできる環境の創出に寄与できるとも考えている。		◎：非常に高い水準で達成 ○：十分な水準で達成 △：達成度が限定的 ×：達成されていない －：評価対象外
③庁内・公民等連携	○	④区の計画への寄与度	○			
地域の子育てひろばやサークル、ゆめひろばなど、社会資源利用につなげることができるように、子育て支援課と当該事業について情報共有を行っている。		北区みんなのまちビジョンに掲げる「子どもがすくすく育つ街」「保護者がニコニコできる街」の各基本方針に合致した事業であり、計画への寄与度は高い。				

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	核家族化が進み、周囲に悩みなどを相談できる人がいない家庭が増加し、不安を解消しようと真偽不明なインターネット上の情報に頼って、子育てをしている保護者がいる。	今後の方向性	継続
対応方針	不安をかかえる子育て中の保護者同士が直接交流し、また専門職が相談に応じることで、子育てについての不安を少しでも取り除き、自信につなげ、孤立を予防する支援を行う。		